

献血後のお知らせ(検査結果)

献血いただく前に、検査結果通知のご希望の有無をお伺いしています。(結果は献血後1ヵ月以内に親展にてお届けします)

(1) 通知している検査項目

●血液型検査、生化学検査 ●血球計数検査

(2) 検査で異常を認めた場合に通知する項目

●B型、C型肝炎ウイルス検査 ●梅毒検査 ●HTLV-1検査

※エイズウイルス(HIV)検査については、通知していません。

より安全な輸血医療のために

検査目的の献血をお断りする理由

エイズウイルスや肝炎ウイルスの感染初期には、強い感染力を持つにもかかわらず、最も鋭敏な検査方法を用いても検出できない期間があります。
エイズウイルスなどの感染に不安があり、献血時の検査により確認しようとする、患者さんにウイルスを感染させてしまうことがあります。

エイズや肝炎は主に性交渉により若い世代に感染が広がっています

エイズウイルス(HIV)や肝炎ウイルス(HBV、HCV)を保有している人との性交渉や、注射器を共用し麻薬などを使用した場合に、エイズや肝炎のウイルスに感染する恐れがあります。
下記はいずれもこれらの危険性が高い行為です。過去6ヵ月以内に該当する場合は献血いただけません。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| (a) 不特定の異性または新たな異性との性的接触 | (c) 麻薬、覚せい剤を使用した |
| (b) 男性どうしの性的接触 | (d) (a)～(c) 該当者との性的接触 |

エイズ検査施設

エイズ検査をご希望の方は最寄りの保健所にお問合せください。
保健所ではエイズ検査を匿名、無料で受けることができます。
「HIV検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>)
では、保健所などの検査機関の情報が掲載されています。

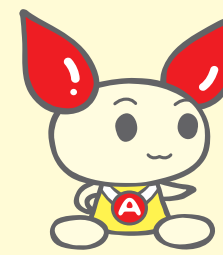


何らかの病気や感染症にかかっているとわかった場合はご連絡ください

献血後、健康診断や医療機関などでB型・C型肝炎の疑いがあると診断された場合等には、血液センターまでご連絡ください。(又は主治医に献血した旨をお伝えください)

ご協力ください

- ・輸血を受けられた患者さんについて感染症などの報告があった場合、その原因調査を行うため、また、献血者ご自身の健康管理のため、検査用血液の採血を再度お願いする場合があります。
- ・献血された方にコールバック用紙「今一度、ご確認をお願いします!」という印刷物をお渡しします。これをよくお読みになって、思い当たる場合は、必ず献血当日中に血液センターへお電話ください。



お願い!



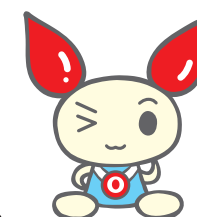
輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合がありますので「責任ある献血」をお願いします。

<以下に該当する方は献血をご遠慮ください>

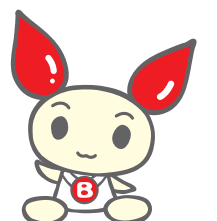
- ① 3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方
- ② 4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ③ 1ヵ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④ エイズ検査が目的の方
- ⑤ 6ヵ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ⑥ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった

<以下に該当する方は職員・検診医にお申し出ください>

- ① 3日以内に薬を服用、使用した方
- ② 1年以内に予防接種を受けた方
- ③ 海外滞在歴について
 - (a) 3年以内に外国(ヨーロッパ、米国、カナダを除く)に滞在した方
 - (b) 昭和55年以降、ヨーロッパ、サウジアラビアに通算1ヵ月以上滞在した方
 - (c) 今までに中南米諸国に通算4週間以上滞在した方



上記に該当されない方でも、検診医の判断で献血をお断りすることがあります。



献血前にお読みください

献血前に

- お名前、生年月日、住所、電話番号等は正確にお答えください。
- ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いすることがあります。
- 問診項目には正確にお答えください。事実と異なる回答をされた場合、輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合があります。**
- 献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩（30分以上）を取っていただく必要があります。
- 副作用予防のため、献血前に水分（スポーツドリンク等）を補給してください。

献血時は

- 200mL・400mL献血では10分から15分位、成分献血では40分から90分位の採血時間がかかります。
- 血圧や血色素量（ヘモグロビン濃度）を事前に測定します。
- 採血針や採血バッグ等は、お一人ずつ使い捨てとなっています。
- 採血装置の不具合等により、採血が中断されたり、いただいた血液が輸血に使用できなくなることがあります。

献血に伴う副作用と注意

- 針を刺した時に、強い痛みがある場合や痛みがいつまでも続く場合は、すぐに職員にお知らせください。
- 採血中に気分不良やめまいを起こした場合は、すぐに職員にお知らせください。また、採血後に同様の症状を起こした場合は転倒を防止するために、すぐにしゃがむか横になってください。
- 皮下出血がある場合は、我慢せずにお知らせください。
- 採血針を刺した箇所に針跡が残ることがあります。

献血していただいた血液は

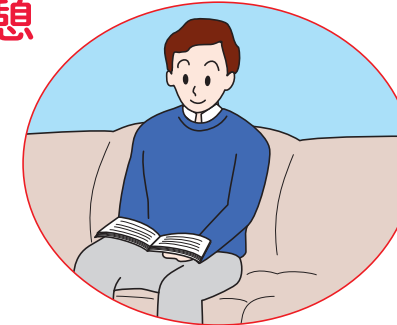
- 検査を実施し、血液製剤の基準に適さないと判断した場合は輸血に使用しません。
- 血液の一部は少なくとも11年間冷凍保存し、輸血副作用・感染症などの調査のために使用します。

献血後の過ごし方

献血後は、水分を補給して休憩（**少なくとも10分以上**）をおとりください。
電車でお帰りの際、転落防止のため駅のホームでは線路の近くで電車を待たないでください。
(気分不良、失神などはじっと立っている時に発生しやすいといわれています)

<献血当日は次のようなことをお願いいたします>

休憩



特に乗り物を運転される場合は、その前に十分な休憩（30分以上）をおとりください

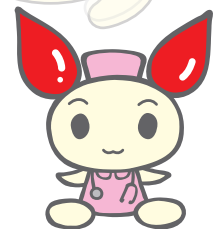
水分補給



ジュース（スポーツドリンク）、お茶などで十分補給してください

- ・**トイレ**…採血直後の排尿は座位で行なってください
- ・**エレベーター・階段**…使用する際は、特に注意してください
- ・**入浴**…2時間以内の入浴と当日のサウナは避けてください
- ・**飲酒・喫煙**…献血直後は避けてください
- ・**スポーツ**…水泳、マラソンなど激しいスポーツは避けてください
- ・**重労働**…採血側の腕に強い力がかけられないようにお願いします

~~・喫煙・飲酒
・スポーツ~~



気分が悪くなったら

緊張感の強い場合やその日の体調によっては、採血の数時間後、まれに気分が悪くなったりめまいがすることがあります。そのような場合はすぐにしゃがむか、横になってください。

通常は頭を低くして30分程度安静にするだけで軽快します。

また、採血後の腕の痛みなど何かご心配なときは、すぐに血液センターまでご連絡ください。

東京都赤十字血液センター (03-5534-7501)

移動採血車の運行予定や献血ルームのご案内などはホームページでもご覧いただけます。

(<http://www.tokyo.bc.jrc.or.jp/>)

献血の同意説明書

献血にご協力いただき、ありがとうございます。
1～4の事項をご確認いただき、献血受付へお進みください。
また、一緒にお渡しした「お願い！」パンフレットも併せてお読みください。

1. 献血に伴う副作用について

- ① 気分不良、吐き気、めまい、失神などが0.9%(約1/100人)、失神に伴う転倒が0.008%(1/12,500人)の頻度で発生します。
- ② 針を刺すことによる皮下出血が0.2%(1/500人)、神経損傷(痛み、しびれ、筋力低下など)が0.01%(1/10,000人)の頻度で発生します。

(医療機関の受診を伴う副作用には、「献血者健康被害救済制度」が適用されます。)

2. 個人情報の取扱いについて

- ① 個人情報や検査結果等は血液センターにおいて厳重に管理されます。
- ② 検診の結果、献血いただけないことがあります。申告いただいた個人情報は、医師法、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」などの定めにより削除できません。

3. 血液の検査等について

- ① いただいた血液の一部を用いて、次の検査を行います。
血液型(ABO型、Rh型、HLA遺伝子型等)、不規則抗体、梅毒、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス(HIV)、ヒトT細胞白血病ウイルス-1型(HTLV-1)、ヒトパルボウイルスB19、ALT(肝機能)等
※あなたの血液をもらった患者さんやあなた自身の健康のため、上記以外にも病原体を検査することがあります。
- ② 血液型や輸血副作用の検査・解析のため、赤血球型、白血球型、血小板型及び血漿蛋白の遺伝子検査を行うことがあります。
- ③ 血液製剤の品質管理や輸血用の検査試薬の製造に使用することがあります。

4. 血液の有効利用について

いただいた血液は、個人を特定できる情報と切り離し、厳密な審査のもと、一般公募された研究機関等および日本赤十字社が実施する、以下の研究開発等に使用することがあります。なお、その際、遺伝子を解析することがあります。

- ① 血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上を目的とした使用
- ② 病気の診断・治療や国民の健康状態の改善を目的とした使用

詳しい研究項目等は添付資料裏面をご覧ください。

献血の同意説明書「4. 血液の有効利用について」の説明

1. はじめに

献血血液(検査用検体の残りや有効期限切れの製剤など)を研究に使用することで、①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上のほかに、②病気の診断・治療法の開発が促進され国民の健康状態の改善などに役立つ可能性があります。

そのため、献血血液を研究に使用することへのご理解をお願いしています。

2. 対象となる研究について

①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上を目的とした研究のほかに、②病気の診断・治療や国民の健康状態の改善(広く国民の公衆衛生の向上)を目的として行われる研究で、かつ献血血液を使用しないと実施が難しい研究が対象です。さらに外部の研究機関などから「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づき申請され、厚生労働省の委員会で承認された研究に限られます。これらの研究のために献血血液が外部研究機関などへ提供される際は、氏名や住所などの情報は切り離し、個人が特定できないようにします。

②の研究は、①に比べて広範囲で多岐に亘るため、その対象となる研究課題を裏面に記載しました。なお、研究の内容により遺伝子を解析することがあります。

3. あなたの利益・不利益について

研究に使用する献血血液は、上記2のように、氏名や住所など個人を特定できる情報と切り離して使用するため、あなたに不利益はありません。また、個人的に受ける利益もありません。

4. 同意と撤回について

献血血液を研究に使用することは、あなたの自由意思による同意に基づきます。同意をしないからといってあなたの不利益になることはありません。

また、同意は、献血血液が研究に使用される前であれば撤回することができます。ただし、早ければ、採血翌日に使用される場合があります。

同意の撤回を希望される場合は、受付の職員にお申し出いただくか、下記の連絡先までお電話をお願いします。

電話番号

無料 0120-99-2056

この電話は24時間対応の受信専用録音電話です。
プッシュボタンによる採血番号等の入力はできません。

同意を撤回するためには、採血番号と生年月日の両方が必要です。
あなたの声でお知らせください。

※採血番号については、献血時にお渡しするチラシ(右写真)の
枠内に記載しております。

今一度、ご確認をお願いします！

献血血液の有効利用に関するご同意はいつでも撤回することができます。

① 不利益が生じたまたは新たな不利益が生じた可能性がある。
② 費用がより低く削減された。
③ 病状、実情が変更された。
④ エイズ検査(抗体検査)の結果が陽性だった、陽性反応はもたない。
⑤ 上記①～④に該当する人と性的接触をもつた。

献血された血液は翌日には患者さんに提供されます。
献血を望む患者さんの安全のために上記①～④に該当する場合は必ず本日までご連絡ください。

献血番号: XXX-XXXX-XXXX 生年月日: []年[]月[]日
※献血番号は献血票の裏面に記載されています。また、献血票の裏面に記載されています。

ご確認いただいた際のプライバシーは厳重に守られますのでご安心ください。

献血センター: 0120-99-2056 (受付時間: 24時間対応) ※24時間対応の受付は録音電話です。
献血センター: 0120-99-2056 (受付時間: 24時間対応) ※24時間対応の受付は録音電話です。
献血センター: 0120-99-2056 (受付時間: 24時間対応) ※24時間対応の受付は録音電話です。

日本赤十字社
献血センター

病気の診断・治療や国民の健康状態の改善を目的とした
献血血液を使用する研究課題

研究課題名

1. 【25J0244】末梢血単核球を用いた抗体医薬の薬理活性の評価
2. 【27J0003】ヒト末梢血細胞を用いた抗酸菌症の基礎研究
3. 【27J0013】ヒト赤血球の膜構造の研究
4. 【27J0017】カーボンナノホーンがヒトマクロファージに及ぼす影響評価
5. 【27J0023】末梢血のエフェクター及び制御性リンパ球の迅速測定法の開発
6. 【27J0025】新規血中癌マーカー開発試薬の特異性評価
7. 【27J0026】新規血中精神疾患マーカー開発試薬の特異性評価
8. 【27J0027】体外診断用医薬品の開発
9. 【27J0028】感染症検査試薬の性能評価
10. 【27J0035】自然免疫系に關与する新規調節因子の解析
11. 【27J0036】日本人における HNA 型の頻度調査
12. 【27J0038】体外診断薬開発に係る献血血液の使用
13. 【27J0041】ヒトパルボウイルス B19 抗原検出試薬の新規開発
14. 【27J0043】Jra 抗原陰性のヒトにおける BCRP(breast cancer resistance protein)の発現・輸送機能の低下に伴う内因性物質の変動に関する検討
15. 【27J0046】ヒトにおける抗 PEGIgM 類有率に関する疫学調査
16. 【27J0051】血小板機能に関する研究
17. 【27J0052】作製血小板の有用性の検討
18. 【27J0057】既存および改良中の検査試薬に関する性能評価
19. 【27J0058】診断用医薬品の新規開発における性能評価

※年度単位での公開のため、まだ実施されていない、または終了している場合があります。

研究の内容をお知りになりたい方は下記ホームページでご確認いただくか、受付の職員にお申し出ください。

<http://www.jrc.or.jp/activity/blood/koubo/>